



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 高松機械工業株式会社
 コード番号 6155 URL http://www.takamaz.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高松 喜与志
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)溝口 清 (TEL)076-274-0123(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 平成28年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト・機関投資家向け)

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,717	△17.7	224	△73.1	221	△75.1	234	△60.0
28年3月期第2四半期	9,378	9.2	833	45.8	888	53.6	587	64.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △100百万円(-%) 28年3月期第2四半期 604百万円(110.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	21.34	—
28年3月期第2四半期	53.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,003	11,776	61.9
28年3月期	20,323	12,008	59.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 11,761百万円 28年3月期 11,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	13.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,175	△3.4	1,275	△26.7	1,316	△26.7	1,062	△13.3	96.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	11,020,000株	28年3月期	11,020,000株
29年3月期2Q	28,663株	28年3月期	28,629株
29年3月期2Q	10,991,352株	28年3月期2Q	10,991,371株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を始めとするアジア新興国等における景気の下振れ懸念や、イギリスのEU離脱問題などから、先行き不透明な状況が続いたものの、政府の各種景気刺激策の効果等により、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。

工作機械業界におきましては、平成28年4月に単月の業界受注総額が32か月ぶりに1,000億円を下回った後、概ね横ばいで推移したため、当第2四半期連結累計期間の受注総額は前年同期に比べ18.3%減少となるなど、内需及び外需のいずれにおいても好調だった昨年に比べると力強さに欠ける状況でした。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は77億17百万円と、前年同期に比べ16億60百万円(17.7%減)の減収となり、営業利益は2億24百万円(前年同期比73.1%減)、経常利益は2億21百万円(同75.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億34百万円(同60.0%減)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 工作機械事業

工作機械事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は69億47百万円(前年同期比17.9%減)、営業利益は2億39百万円(同71.2%減)となりました。

地域別の売上高については、前年同期に比べ、ヨーロッパ向けが増加したものの、国内、北米、アジア向けが減少したことにより、内需は46億98百万円(同5.4%減)、外需は22億48百万円(同35.7%減)となり、外需比率は32.4%(前年同期は41.3%)となりました。

なお、工作機械受注高については、アジア向けを除き増加し、70億58百万円(同5.7%増)となり、工作機械受注残高は58億73百万円(同5.1%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における主な取り組みとして、日本海側最大級の機械工業見本市であるMEX金沢や、アメリカで開催された国際工作機械見本市IMTS2016等の展示会へ出展し、スカイビング加工対応機「SKV-8」及び受注が増加している2スピンドル製品群「XWシリーズ」などの広報・営業活動を行いました。また、海外の連結子会社においてプライベートショーを実施しました。

製品面では、アジア市場をターゲットとするエントリーモデル「GSL-10」の好調な売行きを受け、ヨーロッパ向けに改良を加えた「ESL-10」を新たに発表しました。

② IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2億58百万円(前年同期比34.6%減)、営業損失は10百万円(前年同期は18百万円の営業利益)となりました。

半導体関連を中心として回復傾向がみられ、また、新規案件の開拓等において一定の成果はあったものの、売上高は計画を下回る低い水準にとどまりました。

③ 自動車部品加工事業

自動車部品加工事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は5億11百万円(前年同期比1.3%減)、営業損失は5百万円(前年同期は8百万円の営業損失)となりました。

単体では当第2四半期において売上高が伸長し営業利益を計上しましたが、タイに設立した連結子会社による業績への寄与に遅れが生じており、連結では損失計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は190億3百万円となり、前連結会計年度末に比べて、13億19百万円減少しました。

その主な要因としましては、電子記録債権が13億71百万円、たな卸資産が1億69百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が24億79百万円、投資その他の資産のその他(投資有価証券等)が2億56百万円、現金及び預金が2億6百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は72億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて、10億87百万円減少しました。

その主な要因としましては、長期未払金が3億87百万円増加したものの、役員退職慰労引当金が3億95百万円、電子記録債務が3億37百万円、流動負債のその他(未払金等)が2億69百万円、未払法人税等が2億36百万円、長期借入金が1億9百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は117億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて、2億32百万円減少しました。

その主な要因としましては、利益剰余金が1億2百万円増加したものの、為替換算調整勘定が2億52百万円減少したことによるものです。なお、自己資本比率は61.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

① 営業活動によるキャッシュ・フローは、3億45百万円の資金流入(前年同期は2億53百万円の資金流入)となりました。

その主な要因としましては、法人税等の支払いや、仕入債務の減少等があったものの、売上債権の減少や税金等調整前四半期純利益の計上等があったことによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フローは、1億74百万円の資金流出(前年同期は3億25百万円の資金流出)となりました。

その主な要因としましては、有形固定資産の取得による支出等があったことによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、2億68百万円の資金流出(前年同期は3億32百万円の資金流出)となりました。

その主な要因としましては、配当金の支払や長期借入金の返済による支出等があったことによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、1億83百万円の減少(前年同期は4億10百万円の減少)となり、当第2四半期連結累計期間末残高は22億36百万円(前年同期は19億51百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年8月8日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社の役員退職慰労引当金については、従来、役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、平成28年6月28日開催の第55回定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止しております。

同制度廃止に伴い、在任期間に対する役員退職慰労金の打切り支給を同総会で決議し、役員退職慰労引当金残高387百万円を固定負債の「長期未払金」に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,427	3,220
受取手形及び売掛金	5,812	3,333
電子記録債権	1,355	2,726
商品及び製品	717	828
仕掛品	1,066	1,116
原材料及び貯蔵品	984	992
その他	376	584
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	13,725	12,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,469	1,448
土地	2,282	2,262
その他(純額)	1,258	1,195
有形固定資産合計	5,010	4,906
無形固定資産	111	89
投資その他の資産		
その他	1,510	1,253
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,475	1,218
固定資産合計	6,597	6,213
資産合計	20,323	19,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,957	1,897
電子記録債務	2,266	1,929
短期借入金	858	858
未払法人税等	339	103
賞与引当金	210	200
役員賞与引当金	39	20
製品保証引当金	64	51
その他	955	685
流動負債合計	6,690	5,746
固定負債		
長期借入金	512	402
役員退職慰労引当金	395	—
退職給付に係る負債	662	657
長期未払金	—	387
その他	52	33
固定負債合計	1,623	1,480
負債合計	8,314	7,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	7,929	8,032
自己株式	△11	△11
株主資本合計	11,571	11,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	80
為替換算調整勘定	343	90
退職給付に係る調整累計額	△87	△84
その他の包括利益累計額合計	416	87
非支配株主持分	21	15
純資産合計	12,008	11,776
負債純資産合計	20,323	19,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,378	7,717
売上原価	6,914	5,862
売上総利益	2,463	1,855
販売費及び一般管理費	1,629	1,630
営業利益	833	224
営業外収益		
受取利息	6	1
受取配当金	8	10
持分法による投資利益	16	—
為替差益	0	11
その他	30	28
営業外収益合計	61	51
営業外費用		
支払利息	6	4
持分法による投資損失	—	49
その他	0	0
営業外費用合計	6	54
経常利益	888	221
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	105
特別利益合計	—	106
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	888	328
法人税、住民税及び事業税	351	90
法人税等調整額	△47	6
法人税等合計	303	97
四半期純利益	584	231
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	587	234

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	584	231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	△79
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△3	△149
退職給付に係る調整額	△14	3
持分法適用会社に対する持分相当額	16	△105
その他の包括利益合計	19	△331
四半期包括利益	604	△100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	607	△94
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	888	328
減価償却費	198	230
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△28	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	72	△7
受取利息及び受取配当金	△14	△11
支払利息	6	4
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△105
売上債権の増減額 (△は増加)	△490	1,068
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△208	△235
仕入債務の増減額 (△は減少)	370	△330
その他	△211	△258
小計	583	680
利息及び配当金の受取額	14	9
利息の支払額	△6	△4
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△338	△339
営業活動によるキャッシュ・フロー	253	345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△461	△314
有形固定資産の売却による収入	—	21
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	—	116
定期預金の預入による支出	△1,313	△991
定期預金の払戻による収入	1,455	999
その他	△3	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100	—
長期借入金の返済による支出	△109	△109
自己株式の取得による支出	—	△0
非支配株主からの払込みによる収入	14	—
配当金の支払額	△109	△131
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	△27	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332	△268
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△85
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△410	△183
現金及び現金同等物の期首残高	2,362	2,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,951	2,236

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。